

要 旨

試験委託者

環境庁

表 題

3a,4,7,7a-テトラヒドロ-1H-インデンの藻類 (*Selenastrum capricornutum*)
に対する生長阻害試験

試験番号

6 B 6 7 7 G

試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドライン No.201「藻類生長阻害試験」(1984年)に準拠して実施した。

- 1)被験物質: 3a,4,7,7a-テトラヒドロ-1H-インデン
- 2)暴露方式: 止水式(密閉), 振とう培養(100rpm)
- 3)供試生物: *Selenastrum capricornutum* (ATCC22662)
- 4)暴露期間: 72時間
- 5)試験濃度(設定値): 対照区, 助剤対照区, 0.80, 1.60, 3.20, 6.40, 10.0, 16.0, 24.0 mg/L (公比: 1.5~2.0, 助剤濃度一定: 99mg/L, シメチコンおよびHCO-30使用)
- 6)試験液量: 100 mL (OECD培地)
- 7)連数: 3容器/濃度区
- 8)初期細胞濃度: 1×10^4 cells/mL
- 9)試験温度: 23 ± 2 °C
- 10)照明: 4000~5000 lux (連続照明)
- 11)被験物質の分析: GC法

結 果

1)試験液中の被験物質濃度

各試験液の濃度は開始時において設定の69～85%であったため、下記の生長阻害濃度の算出には実測値を採用した。なお、暴露72時間後の設定値に対する割合は22～23 %であった。被験物質は揮発性であるため、被験物質濃度の減少は、主に揮発によるものと判断した。

2)生長曲線下面積の比較による阻害濃度

50%生長阻害濃度 EbC50(0-72) : 8.14 mg/L (95%信頼区間 : 4.67～14.2 mg/L)
無影響濃度 NOECb(0-72) : 1.19 mg/L

3)生長速度の比較による阻害濃度

50%生長阻害濃度 ErC50(24-48) : 10.6 mg/L (95%信頼区間 : 5.90～19.1 mg/L)
無影響濃度 NOECr(24-48) : 1.19 mg/L
50%生長阻害濃度 ErC50(24-72) : 13.7 mg/L (95%信頼区間 : 算出不可能)
無影響濃度 NOECr(24-72) : 7.95 mg/L